

第15回世界イタリア語週間「音楽のイタリア語、イタリア語の音楽」関連イベント
XV Settimana della Lingua Italiana nel Mondo - "l'italiano della musica, musica dell'italiano"

R
RITSUMEIKAN



アミル・イッサー 講演会 + ミニライブ
あるイタリア語ラッパーの肖像
Incontro con Amir Issaa Profilo di un rapper italiano

萌芽的プロジェクト研究助成プログラム
「現代イタリア文学、創造の最前線へ：詩、小説、ラップ」連続企画

2015/10/09 (金) 18:00

**立命館大学衣笠キャンパス
創思館 1F カンファレンスルーム
入場無料 予約不要**

コメンテーター 阿津坂祐貴 (同志社大学 大学院 SHIPS)
坂下史子 (立命館大学)

サポート DJ NIKU (SHIPS)

主催 イタリア文化会館大阪

立命館大学国際言語文化研究所 現代イタリア文学研究会

問い合わせ先 土肥秀行研究室 hidedoi@fc.ritsumeikan.ac.jp

venerdì 9 ottobre 2015, ore 18

**Conference Room, Soshi-kan,
Ritsumeikan University**

56-1 Toji-in Kitamachi, Kita-ku, Kyoto

ingresso libero

Organizzato da

Istituto Italiano di Cultura Osaka

International Institute of Language and Culture Studies

- Ritsumeikan University

info. Hideyuki Doi hidedoi@fc.ritsumeikan.ac.jp

アミル出演決定
THE UNION アメリカ村音楽祭
2015/10/11 (日) 13:00
CCO クリエイティブセンター大阪
(名村造船所跡地)

「自分の国で余所者」

Straniero nella mia nazione

Design: Maiuco Goto rulu.myk@gmail.com

イタリア語による表現者である。

「オレは移民じゃない」
«Non sono un immigrato»
「あえて社会に入れてもらう必要なんてない」
«Non mi devo integrare»
「自分の国で余所者」
«Straniero nella mia nazione»

現代において「音楽のイタリア語」の創造性を拓ける、ラッパーのアミル・イッサー氏をゲストに迎え、統合と解体の循環運動に絶え間なくさらされてきたイタリアのアイデンティティについて考える。

「オレは移民じゃない」とラップするアミルは、エジプト移民の父とイタリア人母のあいだに生まれるも、ローマ郊外の僻地チョチャリアで幼少期を過ごし、市内の下町トルピニャッターラを拠点にしてきた。これらの戦後のネオレアリズモ系の映画や文学の舞台としてわれわれに親しい地名は、コアなイタリア性をアミルに与えている。しかし音楽界では、常に「余所者」として扱われるアミルは、ときにそのレッテルを皮肉る、あるいは強く拒否するなどして、新たな〈イタリア人〉像とその表現を模索してきた。

立命館大学におけるトークイベントでは、アミル・イッサーという「あるイタリア語ラッパー」に、イタリア（語）文化における「内なる他者」ともいべき存在を発見してみたい。

また、ゲストとともに、アミルのストリート感覚について考えてみる。彼のイタリア語は、常に上位文化を形成してきた紙の伝統を継ぐのではなく、まさしく現代の口伝文化をなすからだ。

そして、あたかも自明であるかのような〈イタリア人〉（あるいは〈イタリア語〉）による表現に対しゆさぶりをかけるアミルが、「世界イタリア語週間」において、日本ではじめて紹介されることをみなでよろこびたい。

土肥秀行（立命館大学）

アミル・イッサー Amir Issaa

1978年ローマ生まれ。父親はエジプト系移民、母親はイタリア人。複雑な家庭環境のなか、ローマの下町トルピニャッターラに育つ。90年代はじめにヒップホップに出会い、人生に可能性を見出す。

2006年にメジャー（ヴァージン）から初ソロアルバム *Uomo di prestigio* 『VIP な俺』を発表したのち、*Grandezza naturale* 『等身大』（2012）まで5枚のフルアルバムを発表している。2011年に公開された映画 *Sciaccia*（日本公開タイトル『ブルーノのしあわせガイド』、原題の意味「まあいい、おちつけ」）の同題主題歌を担当し、一躍世間の注目を集める。2012年には自身のレーベル、Red Carpet Music を設立。米ラッパーのアイス T による自伝『オレの色は死だ』伊語版を読んで以来、読書に目覚めたアミルは、近年学校訪問に力を入れ、国が推進する反差別運動に協力する。一方、国籍認定の基準を血統主義から出生地主義に改めない傾向に対しては批判を強め、*lus music* 「音楽主義」（2014）を発表し、2015年2月に下院で記者会見を開いた。

アミル・イッサー講演会+ミニライブ あるイタリア語ラッパーの肖像

2015/10/09（金）18:00 立命館大学衣笠キャンパス 創思館1Fカンファレンスルーム

アミルもまたイタリア人であり、